

# 『はじめての100か月』という言葉聞いたときに、何を思い浮かべますか？

妊娠期から小学校1年生までがだいたい100か月です。この時期に、こどもは、様々な人やモノ、環境とのはじめての出会いを繰り返し育っていきます。

『はじめての100か月』は、生涯の幸せを育てます。こども家庭庁では、全てのこどもの『はじめての100か月』を、みんなで大切にしていきたいと考え、『はじめての100か月の育ちビジョン』をまとめました。

『はじめての100か月』は、生涯にわたる  
ウェルビーイングの向上に繋がっていく、  
大切な時期です。



## 『はじめての100か月』の5つのビジョン –大切にしたい考え方–

01

こどもの権利と尊厳を守る

全てのこどもに権利があります。  
こども一人ひとりの思いや願いを大切に  
していきます。



02

「安心と挑戦の循環」を通して  
こどものウェルビーイングを高める

こどもは、おとなとの「アタッチメント  
(愛着)」「安心」を土台として、「遊びと  
体験」「挑戦」を繰り返しながら成長し  
ていきます。



03

「こどもの誕生前」から切れ目なく  
育ちを支える

こどもの成長に応じた環境の変化が  
育ちの「切れ目」を生まないように、全  
ての関係者で連携して育ちを支えるこ  
とが重要です。



04

保護者・養育者のウェルビーイングと  
成長の支援・応援をする

こどもに最も近い存在の保護者・養育者がこど  
もとともに育つことができるように、様々な人や  
機会を支えています。

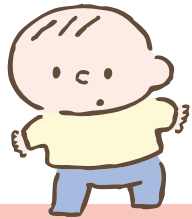


05

こどもの育ちを支える環境や  
社会の厚みを増す

こどもや子育てに直接関わりがある人も、ない  
人も、全ての人がこどもの育ちにとって大切な役  
割を担っています。





# 『はじめての100か月』まちがいさがし

2つの絵を見比べて、10個のまちがいをさがしてみよう！

こどもまんなか  
こども家庭庁  
×  
Tsumupop

みんなで大切に  
『はじめての100か月』

みんなで大切に  
『はじめての100か月』



こんなあそび方もできるよ！

(例) 左上の絵を見てごらん！  
Q. めがねをしている人は何人いるかな？  
Q. 抱っこされているあかちゃんは何人いるかな？



← こたえはこちら

